校長室だより

令和８年度
１１月２日
NO. ２５

それぞれの思いを胸に走り、跳び、応援した！陸上大会








秋晴れのもと、全力で走り、跳び、応援した小学校陸上大会。思い出の１ページ

「自尊心は誉め言葉でなく、「成し遂げる」ことで育まれる。「クラフトマンシップ（誠実さと知識を兼ね備え、仕事に誇りをもって取り組む職人）の文化が、生徒の学びを変える」途中で、子供の安易な賞賛はしない。自分の作品の出来に納得させる。」

『子どもの誇りに灯をともす』（英治出版）ロン・バーガー著

気持ちのよい秋晴れの空の下、龍北グラウンドで秦梨っ子たちが走ったり跳んだりしました。今年は、アジパラ大会の影響で例年より遅い開催となりましたが、市内各地で、小学校陸上大会並びに球技大会の熱戦が、盛大に繰り広げられました。

小中学校の部活動は、きっと多くの人の心に大きな思い出として残っていることでしょう。それは、その運動ができるようになったことだけでなく、成長の証として残っていると言えるでしょう。挑戦したこと、我慢したこと、協力したこと、競い合ったこと、苦しんこと、達成の喜びや楽しさ……。人とは違う、自分自身を作ってきたものがそこにはあります。

熱中症など子供の安全や人数減少による部活動数の減少、体験活動としての部活動など、昔と部活動の姿は変わりました。練習時間も以前よりぐっと減りました。秦梨っ子も少ない人数で、これまで練習に励んできました。小学校最後の部活動となる六年生にとっても、この大会にかける思いは様々です。昨年の記録を塗り替えることや全力で最後まで走りきること、仲間との思い出作りなど、それぞれ違った思いで大会に参加しました。学校以外で練習した子も怪我と戦った子もいました。普段の日常生活では味わえない大切な経験がここにはありました。

五年生の子で、「来年は○○に出たい」と話す子がいました。人の頑張る姿は、仲間に勇気や挑戦、興味を引き起こします。そんな思いが原動力にもなります。けれど時代は大きく変わりつつあります。地域移行が言われ、小学校の部活動も令和十年度までとされています。これまで部活動によってもたらされた子供の経験や成長を、学校生活の中や地域の中で培っていくことができるよう、これから考えなければなりません。

・28日の小学校陸上大会では応援ありがとうございました。併せて送迎等もありがとうございました。
・例年より遅くなりますが、７日より（～8日）理科作品展、技・家作品展が行われます。今年は岡崎市総合学習センターでの開催になります。中総では、８日までおかざきっ子展が行われます。市内の多くの作品が見られます。市民会館では、第54回岡崎のハーモニーが行われます。芸術の秋が楽しめる１日となります。ぜひ足をお運びいただければと思います。